

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-82	小学校	音楽科	音楽	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 403	小学音楽 音楽のおくりもの4		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



音や音楽に、心を響かせる

「小学音楽 音楽のおくりもの4」は、教育基本法及び学校教育法の内容や、さまざまな教育課題に対応すべく、「豊かな情操を培い、学びに向かう力を育む」「丁寧なステップアップと編修上の工夫で、先生方のご授業を支える」「一人一人の子どもたちに寄り添う」の三つの観点を基本方針とし編修にあたりました。

特色
1

学びに向かう力を育む

音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な学びを引き出す工夫をしています。
学習の見通しや活動を、わかりやすく明示しました。

特色
2

先生方のご授業を支える

資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列にしました。

特色
3

一人一人の子どもたちに寄り添う

歌詞の内容を、美しいビジュアルで表現しています。

主体的・協働的な学びを引き出す工夫をしています。

本教科書は、題材構成された主要部分と、選択可能なオプション部分等で構成されています。主要部分では「**学習のめあて**」や「**まなびナビ**」などを示すことにより、子どもが見通しをもって主体的に学習できるように配慮しました。
[共通事項]の「音楽を形づくっている要素」を本教科書では「**音楽のもと**」と示しています。

題材名

学習のめあて

音楽のもと

3 曲に合った歌い方

せんりつの特ちょうを生かして歌おう

とんび

♩=88くらい

せんりつの特ちょうを生かして歌おう

とんび

音楽のもと ◆せんりつ ◆フレーズ ◆よびかけとこたえ ◆強弱 ×メモ

「音楽のもと」を見開きごとに示しました。「音楽的な見方・考え方」を働かせ、思考・判断しながら、表現を深めていくことができます。

▲P.32-33



まなびナビ
(学び方を知ろう)

- 音ぶを1だんごとになぞるなどして、せんりつがどのような流れになっているかをたしかめ、気づいたことを話し合おう。
- 「ピンヨロー」のフレーズは、どんな感じで歌いたいか。いろいろな強さや感じで歌って、ためてみよう。

「まなびナビ」は、指導上の留意点や、評価のガイドも視野に設定しています。学びのプロセスを示すことで、児童が見通しをもって学習を進めることができます。

学習の見通しや活動を、わかりやすく明示しました。

目次の次の見開きページに、各題材の学習内容について、子どもにもわかるように説明しています。

学習マップ

1 はくとせんりつ
いろいろなひょうし曲の、はくの流れをとらえて、さいたりえんそうしたりします。

2 ひびきのある歌声
いろいろな歌声を楽しみながら曲をさいたり、たがいの声をきき合いながら歌ったりします。

3 曲に合った歌い方
せんりつの特ちょうを生かして、歌い方をくふうします。

4 かけ合いと重なり
楽器どうしのかけ合いや重なりを注目してききます。

5 日本と世界の音楽
くらしの中で生まれ、伝えられてきた音楽の特ちょうに気づきながら、さいたりえんそうしたりします。

6 パートの役わり
各パートの役わりや、パートとパートの関わりを気づき、強弱を生かしてえんそうします。

7 音楽のききどころ
せんりつや速度、強弱などの変化に注目してきき、曲のおもしろいところを見つけて友達に伝えます。

8 思いに合った表げん
曲のよさを見つけ、楽器や声の美しいひびきを生かしながら、みんなで表げんをくふうしてえんそうします。

学習の進め方

- ♪ 「音楽のもと」を手がかりにして学習を進めよう
 - ・「音楽のもと」を手がかりにして曲の特ちょうを見つけ、どのようにえんそうしたいか考えたり、曲のよいところやおもしろいところについて友達と伝え合ったりしよう。
 - ・音楽をつくるときも、「音楽のもと」に注目してつくりよう。
- ♪ 曲についていろいろなことを知ろう
 - ・曲の感じをとらえ、どうしてそのように感じるか理由を見つめたり、歌しとの関わりについて調べたりしてみよう。
 - ・作曲家や、その音楽が生まれた国・地いきなどについて調べたり、くらしと音楽との関わりについて考えたりしてみよう。
- ♪ すてきなえんそうのために
 - ・「こんなふうにあんそうしたい」と思った、そのための歌い方や楽器のえんそうの仕方について考え、くふうして練習しよう。
- ♪ きき合って楽しくえんそうしよう
 - ・おたがいの声や楽器の音、ぼんそうなどをききながら、楽しくえんそうしよう。

特色
2

先生方のご授業を支える

資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列にしました。

「音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む」「生活や社会と音楽との関わりを扱う」「主体的・協働的に表現を楽しむ」を柱に、子どもたちの学びが深まるよう、系統性のある構成に配慮しました。

主要部分の題材構成一覧

	4年	5年	6年
音楽の見方・考え方を働かせながら 資質・能力を育む題材	はくとせんりつ	和音や低音のはたらき	短調のひびき
	ひびきのある歌声		
	曲に合った歌い方	豊かな表現	豊かな表現
	かけ合いと重なり	アンサンブルのみりよく	アンサンブルのみりよく
	パートの役わり	パートの役わり	せん律のひびき合い
音楽のききどころ	音楽のききどころ	音楽のききどころ	
生活や社会と音楽との関わりを扱う題材	日本と世界の音楽	日本の音楽	日本の音楽 世界の音楽
主体的・協働的に表現を楽しむ題材(まとめ)	思いに合った表げん	思いをこめた表現	思いをこめた表現

特色
3

一人一人の子どもたちに寄り添う

歌詞の内容を、美しいビジュアルで表現しています。

日本の美しい自然や四季を感じ取れるよう、折込3ページで写真を掲載しています。



▲ P.10-11



◀ P.36-37

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点と特色	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 教材選定における配慮 教材の配列と扱いにおける配慮 学習活動の提示における配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養、豊かな情操を培えるように、我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを選び、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取ることができるように配慮しました。(第1号) 児童一人一人がその能力を伸ばし創造性を培えるように、教材の配列や扱いに配慮しました。(第2号) 正義と責任、自他の敬愛と協力に対応するため、心を通わせながら学習活動をすすめる設定や示唆を設けました。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年 全学年 P.4 P.41ほか
<ul style="list-style-type: none"> 郷土の音楽の扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の民謡を掲載するなど、伝統と文化を尊重する心を育むよう配慮しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> P.40ほか
<ul style="list-style-type: none"> 共通教材等の唱歌の扱い (「にっぽんのうた みんなのうた」コーナー) 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の自然を表現した教材を扱う際、自然を大切にする気持ちを育むよう配慮しました。(第4号) 共通教材をはじめ歌い継いでいきたい我が国の歌の扱いでは、我が国の自然や四季、暮らしとの関わりを重視しました。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> P.36ほか P.10ほか
<ul style="list-style-type: none"> 国歌「君が代」の扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞と楽譜が読みやすい見開き構成とし、児童が「君が代」を覚えやすいように、「さざれ石」の写真や、平易な説明文を掲載しました。(第5号) 自国や他国の国歌が演奏される場面をスポーツ大会の写真などで掲載し、国歌の担う国際的な役割にも触れています。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年 国歌「君が代」

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

人権教育・特別支援教育

専門家による校閲を受け、すべての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

- 人権教育への配慮
人権を尊重し、あらゆる差別やジェンダーなどについても配慮しています。
- カラーユニバーサルデザインへの配慮

紙面全体、文字や図版については、色の組み合わせや濃淡の工夫、また罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど、色覚の多様性を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。



- ユニバーサルデザインフォントの使用
紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを要所に使用しています。



新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、表紙には抗菌加工をしており、裏表紙には、学校の生活で気をつけることをまとめた資料にアクセスできる、二次元コードを掲載しています。



まなびリンク



紙面上の二次元コードを通じた、音声や動画、写真、ワークシートなどの良質なデジタルコンテンツの活用により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。

教科書の紙面では「見る」「書く」「知る」「きく」のアイコンが目印です。

※PC・スマートフォン等とインターネット環境によって、家庭等校外からもアクセスが可能です。



見る
(動画など)



書く
(書き込み欄など)



知る
(資料など)



きく
(音声など)



小学音楽
「まなびリンク」
トップページ

めざせ
楽師名人

サミングにちょう戦しよう

ハロー サミング

♩=144♩ 横本龍雄 作曲

右手
左手

高い⑤より上の音は、左手の親指でうらあなに少しすき間をつくります。これを、サミングといいます。

サミングには二つの方法があります。あけやすい方を選んでね。

親指を下へずらせる
親指を少し曲げる

⑤→④の動きのときは、こちらがあけやすいよ。

●低い⑤をふきながら、左手の親指で少しずつすき間を広げてみよう。
高い⑤に音が変わったときの、すき間のあけ方を覚えよう。

高い音をきれいにひびかせるために、「ティ」と発音する感じでタンギングしよう。

28



二つのサミングの方法を
動画で確認できます。

◀P.28

デジタル機器を使用した学習への配慮

● タブレットPC等の活用

発達段階に応じて、タブレットPC等を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

● デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や音声などを追加した学習者用デジタル資料集・指導者用デジタル教科書を発行します。

今日的な教育課題(カリキュラム・マネジメント)への対応

- 主要部分と、選択可能なオプション部分を組み合わせることにより、地域や学校ごとのカリキュラムへの対応が可能です。
- 短時間学習(※)を視野に、教科横断的に扱える教材を掲載しています。
- 楽器の技能に関しては、授業時間内や短い時間を利用して繰り返し楽しみながら練習し、定着を図るコーナーを設定しています。

※ 短時間学習…10分、15分などの短い時間を単位として取り組む学習

先生方のご授業を支える

子どもが学習活動を通して、知識や技能を確実に習得できるように構成しています。

1 はくとせんりつ

ひょうしのちがいを感じ取り はくの流れにのって歌おう

ラバース コンチェルト
作曲：ラッセル・マクグラーナー
指揮：デニー・ランドル 編曲：森田 真

メヌエット
「アンター・マクグラーナー・パッサリの音楽集」から
作曲：アンター・マクグラーナー
このメヌエットは、ペツェルトが作曲したものと見られています。

歌ったりさいたりしながら、しきの動きをして、ひょうしのちがいを感じ取ろう。

4分の4びょうし
4びょうしのしきの動きの前

4分の3びょうし
3びょうしのしきの動きの前

14 15

同じ旋律を4拍子と3拍子で、歌ったり鑑賞したりするなどの学習活動を通して比較します。

▲ P.14-15

4拍子、3拍子、2拍子を、指揮をするなどの活動を通し、連続して感覚的に学習します。

P.16-17▶

1 しごとのかたむけ

2びょうしを感じてしきをしてみよう

曲に合わせて、4分の2びょうしのしきの動きをしてみよう。強弱などの変化にも合わせて、しきの動きができるかな。

トルコ行進曲
作曲：ベーム（作曲）

ちつとあそぼう
「メリーさんの羊」を、速度や強弱が反復に反復するように、しきしてみよう。しきを交代しながら、歌ってみよう。

しき者は全体を促すはくの流れや速度、強弱、曲の感じなどをし、みんなのほんまごころをまとめる役わりをします。

強弱 速度

どのようにしきをしたら、みんなにむかかな。

強くしたい 弱くしたい

メリーさんの羊
自由な速さで
作曲：高橋三太郎 作詞：高橋三太郎 不明

4分の2びょうし

4分の2びょうし
2びょうしのしきの動きの前

16 17

まなびリンクの動画では、各楽器の音色を確認することができます。

さつきあけのり

P.34-35▶

4 かけ合いと重なり

かけ合いや重なりのおもしろさを味わおう

アラ ホーンパイプ
作曲：ヘンデル（作曲）

「水上の音楽」は今から300年ほど前に、川に船を浮かべパーティーをする玉様のために作曲されました。「アラ ホーンパイプ」では、トランペットとホルンがまげかけ合うように鳴ります。（ほんまごころで、他の楽器の音も聴いてください）

トランペット

（原曲は二重奏、2分の3びょうし）

- トランペットとホルンは、管楽器の仲間です。ひびきのちがいに注目してきいてみよう。
- トランペットとホルンが、よびかけ合うおもしろさや、全体が重なったときのひびきを感じ取ってきこう。
- 曲全体の流れはどのようにになっているかな。せんりつや楽器の音に注目してきこう。

曲全体の流れ

（主なせんりつ）を中心とする部分 → せんりつを感じが大きく変わる部分 → どんなせんりつが大きくなるかな。

どちゅうから、「ととと」のよびかけ合いがきこえます。

どんな楽器の音がきこえるかな。

楽器の音についても気づいたことをお話ししよう。

管楽器の仲間→79ページ

34 35



外国語活動と関連させ、短時間学習の教材として扱える「ショート タイム ラーニング」を、巻末に掲載しています。

Short Time Learning

I Love the Mountains

作詞・作曲者不明
野村まり 採録

ほどうい 遠さで
I love the moun-tains, I love
love the flow-ers, I love the
love the sun when all the lights are low,
Boom-de-ah-da, Boom-de-ah-da, Boom-de-ay.
Boom, Boom, Boom.

ふりがなはめやすです。

この曲は、アメリカのキャン・ソングとして広く歌われています。

【歌しの内よう】
わたしは山が好き わたしはおかが好き
わたしは花が好き わたしはスイセンが好き
わたしは晴い部屋にがやくだんるが好き
ブンディアダ…(かけ声)

Sakura Sakura

(さくらさくら)
作詞 岸田 歌集
岸田 吉 録音

ほどうい 遠さで
Sa-ku - sa-ku -
Cher-ry blos-soms in fu-ll-blo-ssom so beau-ti-ful.
Sweet pink flo-wers you can en-joy spring win-d, too.
さくら さくら Come and see them now.

海外の友達とも、いっしょに歌えたら楽しいね。

【英語しの内よう】
さくら さくら さくらの花が満開だ。
ほら、ここにも、あそこにも、とてもきれいだね。
かわいピンクの花、緑の葉っぱたち。
春らしい風もふいているよ。
さくら さくら さくら
さあ、おいで、見に行こう。

P.74-75 ▶

特色 3 一人一人の子どもたちに寄り添う
表現や活動の参考となるイラストを配置しています。

5 日本と世界の音楽

伝えられてきた歌を楽しもう

ソーラン節

自由な遠さで 北海道民謡 きたかみじゅん 編曲

歌い手役 ハードッコイ

歌 ヤーレン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン

みんな 歌い手役

ハイハイ にしんきたかど かもめに とえばー

みんな

わたしゃ たつとりー なみー に きけ ちょい ヤサ エーエン

ヤンサー ノドッコイ ショハー ドッコイショ ドッコイショ

●民ようは、いろいろなせんりつや歌い方でえんぞうされます。
●「ソーラン節」は、ニシン漁のときに歌われていたと伝えられています。

【ソーラン節】に使われている音階です。
ミ ソ ラ シ レ ミ

音楽のもと ◆せんりつ ◆音色 ◆よびかけとこたえ

「ソーラン節」にぴったりの歌い方を見つけよう

- どんな声で歌ったらよいか。いろいろな声や歌い方をためてみよう。

「もみじ」や「ゆかいに歩けば」を歌うときと同じ声でいいのかな？

漁の作業をするときに、みんなで動きを合わせながら、歌っていたのかな。

手びょうしをしながら歌いたくなったよ。

- 歌い手役 と みんな に分かれて歌ってみよう。(歌い手役は、一人でもグループでもよいです。)

ヤーレン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン... ハイハイ!

ソーラン節 (北海道民謡)

内容の特色



観点	内容の特色（該当箇所掲載）
知識及び技能の習得	「音楽を形づくっている要素」を、児童がその働きを意識しながら学習できるように「音楽のもと」として見開きごとに示しました。 また、「音楽を形づくっている要素」をもとに、思いや意図に合った表現のための技能を身に付けられるように配慮しました（P.30-31ほか）。
思考力、判断力、表現力等の育成	「音楽を形づくっている要素」をもとに、音楽を捉えて魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かして表現したりできるように、教材や扱い方に配慮しました（P.32-33、P.34-35ほか）。
主体的・協働的で深い学び	児童が見通しを持って主体的・協働的に学習できるように、見開きごとに学習のねらいとまなびナビ（P.32ほか）を設定したほか、学年全体の学習の流れを、学習マップ（P.4-5）で示しました。
歌唱教材	音域や長さ、歌詞の内容が発達段階に適合するように、教材の選定や扱いに配慮しました。また、輪唱やパートナーソングなどを取り入れることにより、合唱の導入の扱いにも配慮しました。
器楽教材	演奏の技能を少しずつ確実に習得できるような構成です（P.28-29ほか）。
音楽づくり教材	児童が音楽づくりの発想を得たり、思いや意図をもって、まとまりを意識した音楽をつくったりすることができるように、学習活動の系統性や発達段階に配慮しています（P.26-27ほか）。
鑑賞教材	「音楽を形づくっている要素」を聴き取りやすい教材を選択し、音楽的な見方・考え方を育むことができるように配慮しています（P.54-55ほか）。
伝統・文化の尊重	歌唱共通教材では、歌詞から想像される季節や情景を表す写真、挿絵を豊富に掲載しています（P.10-11ほか）。
国際理解	諸外国の音楽文化について、人々の生活との関わりを意識した扱いに配慮し、多様な曲種の音楽を扱っています（P.46-47ほか）。
範囲	低・中・高各学年の目標及び内容をふまえて精選された題材と教材により、必要な範囲の内容が十分かつ適切に扱われるように配慮しています。
程度	リズム、音域、歌詞の内容など、各学年にふさわしいグレードの教材を、発達段階に合わせて系統的に配置しています。
教育基本法との対応	第二条第1号～第5号に適合するように編修しています（教育基本法との対照表をご参照ください）。
ICT機器の活用	紙面に掲載した二次元コードで、児童の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できる動画・音声・テキストの資料「まなびリンク」を用意しています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	専門家による校閲を受け、すべての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。
製本	製本は堅牢で、長期の使用に十分耐えられる仕様です。

2. 対照表

第4学年 教材 ◎ …鑑賞教材 (共) …共通教材 ☆ …音楽づくり	A 表現											B 鑑賞		[共通事項]		他教科との 関連等	
	(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 音楽づくり						(1)		(1)		
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア		イ		ウ		ア	イ	ア		イ
							(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)					
ありがとうの花	○	○	○												○		
早口	○	○	○												○		
☆早口言葉でラップを楽しもう!								○		○		○			○		(国)
さくら さくら (共)	○	○	○												○		
◎さくら変そう曲												○			○		
ラバース コンチェルト/◎メヌエット	○	○	○									○	○	○	○		
◎トルコ行進曲/メリーさんの羊	○	○	○									○	○	○	○		
エーデルワイス	○	○	○	○	○	○									○	○	
◎「サウンド オブ ミュージック」から												○	○	○	○		
プパポ	○	○	○												○	○	
まきばの朝 (共)	○	○	○												○		
☆音の動き方を生かしてせんりつをつくろう							○		○		○				○	○	
ハロー サミング				○	○	○									○		
「もののけ姫」から				○	○	○									○		
ゆかいに歩けば	○	○	○												○	○	
とんび (共)	○	○	○												○	○	
◎アラ ホーンパイプ												○	○	○	○		
もみじ (共)	○	○	○												○		(道)
ソーラン節/◎ソーラン節	○	○	○									○		○	○		
日本のお祭りをたずねて												○					(社)
◎秩父屋台ばやし など							○		○		○	○	○	○	○		
◎サムルノリ など	○		○	○		○						○	○	○	○		
おどれサンバ	○	○	○	○	○	○									○	○	
☆音階をもとにして音楽をつくろう							○	○	○	○	○	○			○	○	
ラ クンパルシータ				○	○	○									○	○	
◎ノルウェー舞曲 第2番												○	○	○	○		
遠き山に日は落ちて/グッデー グッバイ	○	○	○	○	○	○									○		
☆役わりをもとに音楽をつくろう							○	○	○	○	○	○			○	○	
◎歌げき「魔笛」から												○	○	○			
半月	○	○	○												○		
沖永良部の子もり歌	○	○	○												○		
北風こぞうの寒太郎	○	○	○												○		
まきばの こうし	○	○	○												○		
飛べよツバメ	○	○	○												○		
カルーヨ				○	○	○									○		
魔法のすず				○	○	○									○		
札幌の空	○	○	○												○		
音楽のおくりもの	○	○	○												○		
さんぽ	○	○	○	○	○	○									○		
I Love the Mountains	○	○	○														英
Sakura Sakura (さくら さくら)	○	○	○												○		英
君が代	○	○	○												○		
どこかで春が	○	○	○												○		
みかんの花さくおか	○	○	○												○		
里の秋	○	○	○												○		

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-82	小学校	音楽科	音楽	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽 403	小学音楽 音楽のおくりもの4		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
39	全休ふ	2	[共通事項] (1) イ	0.25
			合計	0.25

(「類型」欄の分類について)

- 1 …… 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2 …… 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容